

平成 16年 3月期 第 3 四半期業績の概況（連結）

平成 16年 2月 10日

上 場 会 社 名 酒井重工業株式会社

（コード番号：6358 東証第 1 部）

（URL <http://www.sakainet.co.jp>）

代 表 者 役職名 代表取締役社長 氏名 酒井 一郎

問合せ先責任者 役職名 取締役管理部長 氏名 神戸 恒雄

（TEL：(03) 3434 - 3401）

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における 認識の方法との相違の有無 無
連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 無

2. 平成16年 3月期第 3 四半期業績の概況（平成 15年 4月 1日 ~ 平成 15年 12月 31日）

（注）1. 金額は百万円未満は切り捨てて表示しております。

2. 四半期業績の開示は平成16年3月期第 1 四半期より実施しておりますので、前年同四半期実績及び増減率は記載していません。

（1）経営成績（連結）の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期） 純 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16年 3月期第 3 四半期	10,072	-	162	-	89	-	61	-
15年 3月期第 3 四半期	-	-	-	-	-	-	-	-
（参考）15年 3月期	13,973		26		12		214	

	1 株当たり四半期 （当期）純利益		潜在株式調整後 1 株当たり 四半期（当期）純利益	
	円	銭	円	銭
16年 3月期第 3 四半期	1.44		-	
15年 3月期第 3 四半期	-		-	
（参考）15年 3月期	5.03		-	

【経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等】

当第 3 四半期の道路建設機械業界は、国内では公共投資縮減による厳しい市場環境が続いているものの買替需要による底打ちの兆しが見られ、また海外市場でも世界的に持ち直しの兆しが出て参りました。この様な市場情勢の下で当企業グループは、国内の減収を国内事業合理化と海外事業拡大でカバーし、第 3 四半期末累計業績は前年に比べ減収ながら増益基調を確保して参りました。

10月～12月期で見ますと、国内では売上高が前年比で減少したものの受注高は増加基調に転じ、また北米及びアジア事業では売上高、生産高ともに拡大基調を確保致しました。業績面では円高による利益圧迫要因があったもののコストダウンと生産拡大効果から増収増益基調を確保致しました。

（2）財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1 株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16年 3月期第 3 四半期	27,595	16,462	59.7	387.28
15年 3月期第 3 四半期	-	-	-	-
（参考）15年 3月期	26,810	16,127	60.2	379.27

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財政活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	百万円	百万円	百万円	百万円
16年 3月期第 3 四半期	810	673	392	2,660
15年 3月期第 3 四半期	-	-	-	-
（参考）15年 3月期	137	253	233	2,927

【財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等】

当第 3 四半期の財政状態は以下の通りであります。

前連結会計年度末に比べ総資産額は 7 億 8 千万円増加し 2 7 5 億 9 千万円となり、株主資本は 3 億 3 千万円増加し 1 6 4 億 6 千万円であります。増減の主なものは、流動資産では現金及び預金が 2 億 6 千万円減少、有価証券が 3 億 1 千万円増加、棚卸資産が 2 億 3 千万円増加しております。

固定資産では有形固定資産が 1 億 9 千万円減少、投資有価証券が時価の回復等により 9 億 2 千万円増加、繰延税金資産が 2 億 6 千万円減少しております。

負債は 4 億 7 千万円増加しております。主なものは、支払手形及び買掛金が 1 1 億 8 千万円増加、短期借入金 2 億 6 千万円減少、長期借入金 1 億 7 千万円減少であります。

なお、借入金の減少には、為替換算差額 2 億 6 千万円が含まれております。

連結キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、26億6千万円となり、前連結会計年度末に比べ2億6千万円減少しました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は、8億1千万円であります。主な増加額は、非資金的科目である減価償却費2億9千万円、仕入債務の増加額12億4千万円であります。主な減少額は、たな卸資産の増加額4億円、売上債権の増加額1億7千万円及び未払費用の減少額1億2千万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は、6億7千万円であります。主な減少額は、有価証券及び投資有価証券取得による支出5億3千万円、有形固定資産取得による支出1億5千万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は、3億9千万円であります。主な減少額は、親会社による配当金支払額2億1千万円と短期借入金返済による支出7千万円及び長期借入金返済による支出1億円であります。

3. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益
通 期	百万円	百万円	百万円	円 銭
	14,000	260	200	4.71

上記の予想は本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

[業績予想に関する定性的情報等]

業績予想につきましては、現状の不透明な為替動向と受注への影響など不確定要因が多いことから、通期業績予想の変更はしておりません。

（参考）

（1）四半期個別経営成績等の概況（平成15年4月1日～平成15年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期（当期） 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円
16年3月期第3四半期	9,205	258	210	188
（参考）15年3月期	12,699	118	191	39

	総資産	株主資本
	百万円	百万円
16年3月期第3四半期	25,861	17,360
（参考）15年3月期	23,943	16,934

（2）平成16年3月期の個別業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益
通 期	百万円	百万円	百万円	円 銭
	12,500	280	250	5.88

上記の予想は本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。